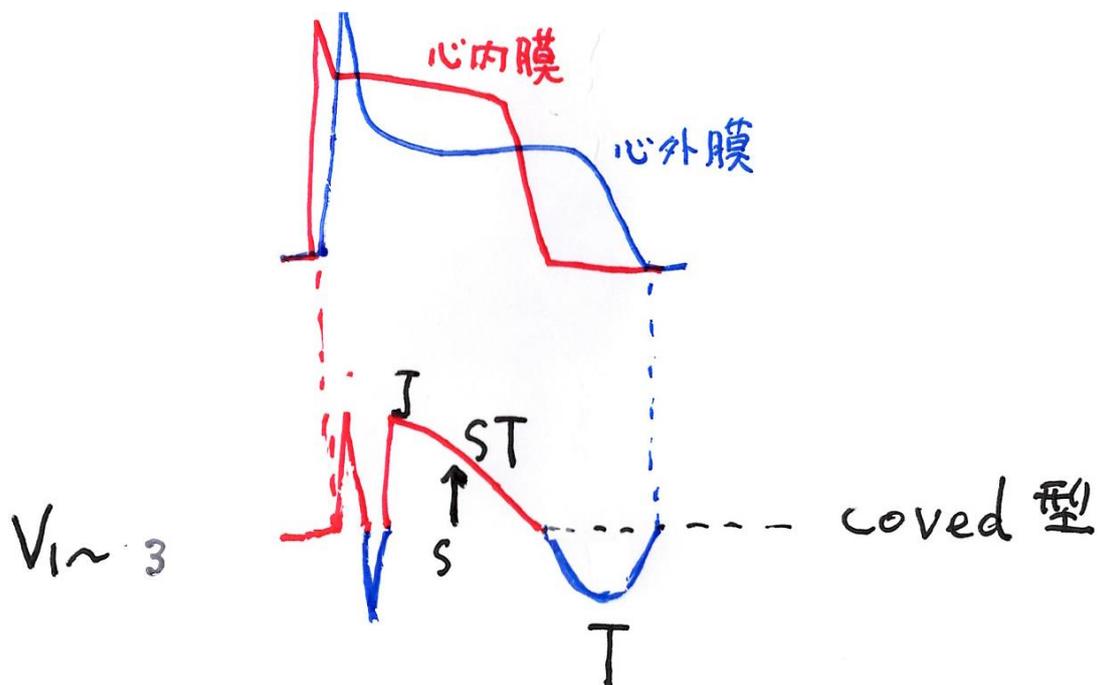


ブルガダ症候群

1. 診断

- ① ブルガダ症候群とは、右室流出路・心外膜側の活動電位の異常によって致死性不整脈（VF）を来す病態を言う。
- ② ブルガダ症候群の診断は心電図診断であって、タイプ1コーブド型を認めたらすなわちブルガダ症候群の診断確定となる。
- ③ ECGでは、の双方を満たす波形となる。
 - ① 心外膜側の早期再分極による、2m以上のJ点（J波）とST上昇。
 - ② 伝導遅延による陰性T波。



J点 2mm以上の上昇
ST上昇 2mm以上
陰性T波